

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
推進体制JFRの  
マテリアリティ低炭素社会への  
貢献サプライチェーン  
全体のマネジメント地域社会との  
共生ダイバーシティ  
の推進ワーク・ライフ・  
バランスの実現事業会社の  
ESGの取り組み

ガバナンス

データ集

トップメッセージ → ESG担当役員メッセージ JFRの事業戦略 JFRの理念体系 サステナビリティに関する方針



## サステナビリティレポート2020発行によせて

J.フロントリテイリング株式会社 執行役常務 経営戦略統括部長 兼 リスク管理担当 平野 秀一

など、今までとは比較できないほど不透明・不確実でリスクの高い情勢となっています。

当社グループは、社会価値創造の枠組みとして、お客様とふれあう場をJFRが考えるサステナビリティ経営の重点領域と定め、主体的に持続可能な社会の実現に向け、全社一丸となって取り組むことを定めた「サステナビリティ方針」を2018年に策定しました。あわせて、ステークホルダーへのアンケートの実施結果をもとに経営会議や取締役会で論議を重ね、当社として取り組むべき5つのマテリアリティ（「低炭素社会への貢献」「サプライチェーン全体のマネジメント」「地域社会との共生」「ダイバーシティの推進」「ワーク・ライフ・バランスの実現」）を定めました。

2019年度は、こうして定めた5つのマテリアリティへの取り組みを着実に進めました。

特に環境問題には重点を置いて取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の発生により、その取り組みの重要性は今まで以上に大きくなっていると認識しています。今後もさらに気を引き締めて環境問題に取り組んでいきます。

さらに、これらのサステナビリティへの取り組みを継続的に推進するための「コーポレートガバナンスの高度化」にも引き続き取り組んできました。

2020年5月の株主総会決議を経て、当社の経営体制は大きく変わりました。今回のレポートは、新たに代表執行役社長に就任した好本のサステナビリティへの想いをステークホルダーの皆様にお伝えするとともに、2019年度のマテリアリティへの活動の進捗についてご報告する内容となっています。

新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延など、今までとは比較できないほど不透明・不確実でリスクの高い時代においても、当社グループはサステナビリティへの取り組みに真摯に向き合い、地球の未来や社会に貢献する企業グループを目指して活動するとともに、その進捗状況を誠実に開示していきたいと考えています。今回のレポートがその一助となれば幸いです。

この度、「サステナビリティレポート2020」をリリースする運びとなりました。サステナビリティレポートは、ステークホルダーの皆様へJFRグループのESGへの取り組みのご理解を深めていただけるよう、昨年度から発行し、今回は2回目の発行となります。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延